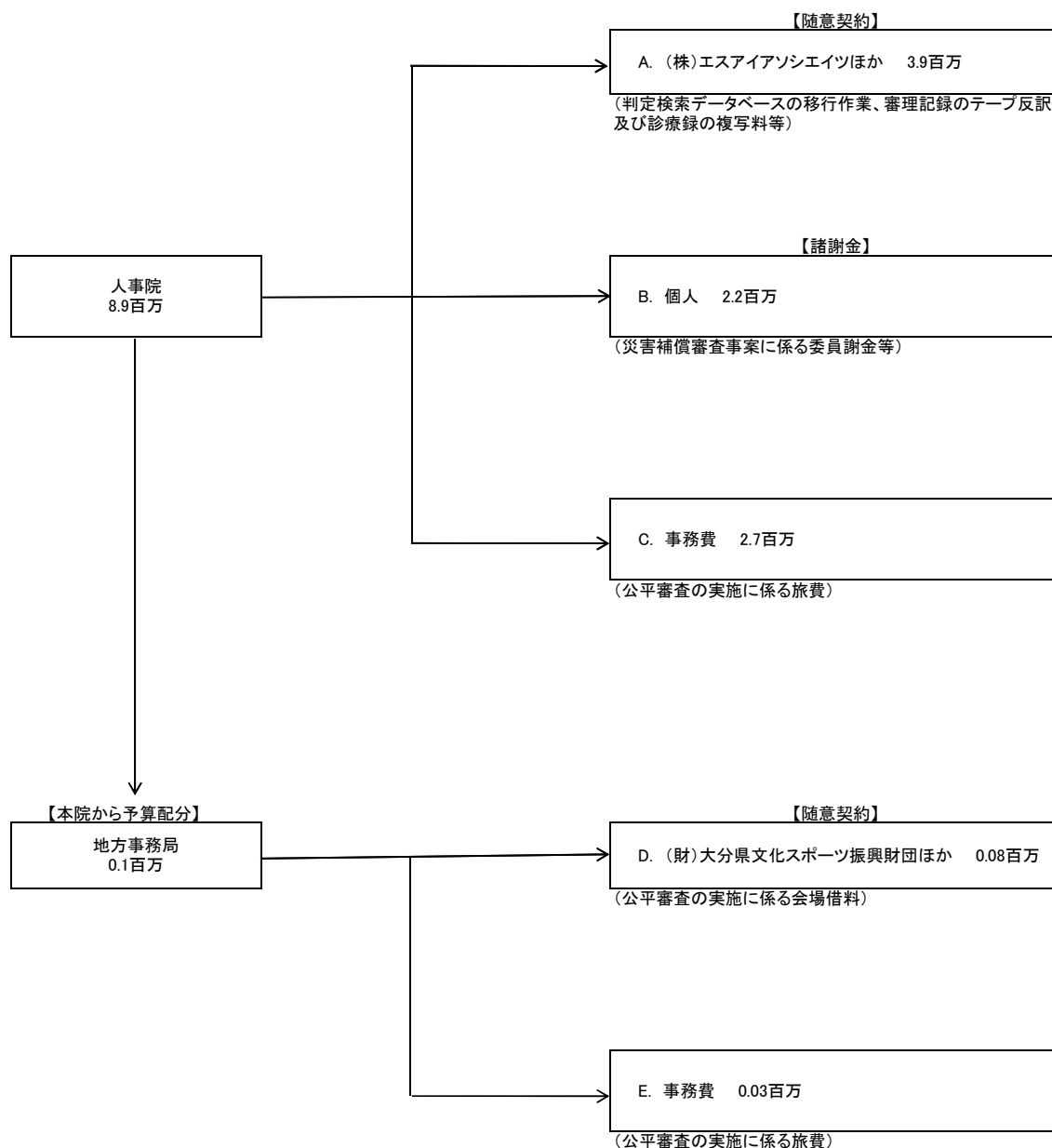


平成25年人事院行政事業レビューシート								
事業名	公平審査		担当部局	公平審査局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和24年度		担当課室	調整課		課長 塚田 治		
根拠法令等 (具体的な条項も記載)	国家公務員法第86条、87条、88条、89条、90条、90条の2、91条、92条、92条の2 国家公務員災害補償法第24条、25条 一般職の職員の給与に関する法律第21条 人事院規則13-1、13-2、13-3、13-4							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	不利益処分についての不服申立て、勤務条件に関する行政措置の要求、災害補償の実施に関する審査の申立て等及び給与の決定に関する審査の申立てが人事院に対してなされた場合に、それぞれ所定の審査手続に従って、できる限り迅速かつ適切に事案の処理を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	公平審査は、所定の審査手続きに従って担当職員ができるだけ迅速かつ適切に事案の処理に取り組み、各審査制度の審査方法に則って審理や事実調査、必要に応じた証人尋問などを本院及び地方で実施し、その後判定を作成し発出する。災害補償審査の申立てに関しては、それぞれ個別の事案の調査に当たって医証収集や主治医からの意見聴取を行うとともに、専門の委員から意見を聴取し判定を作成し発出する。また、救済機能の充実、強化を図るため学識経験者等から意見聴取を実施し、制度の整備等を図っている。							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	12	12	12	13	13	
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
	計	12	12	12	13	13		
	執行額	13	12	9				
執行率(%)	108.3%	100.0%	75.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	全判定発出件数に占める結審等から半年以内に発出した判定件数の割合を75%以上(H23以前は70%以上)にする。(成果実績の欄は、結審等から半年以内に発出した判定件数。達成度の欄は、全判定件数に占める割合)		成果実績	件	33	26	22	
			達成度	%	73.3%	70.3%	75.9%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	処理件数(上段は、判定及び取下げ・却下等の件数。下段は、そのうちの判定件数。)		活動実績 (当初見込み)	件	71 45	77 37	62 29	—
					()	()	()	
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	2	2	経費の積算基礎となっている各公平審査制度の事案処理件数を最新の実態に合わせて見直したことによるもの				
	職員旅費	6	5					
	講師等旅費		0.06					
	証人等旅費	0.03	0.03					
	庁費	5	5					
計	13	13						

事業所管部局による点検			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	公平審査制度は、第三者機関である人事院が、行政部内の準司法的機関としての立場から実施するものであり、職員の利益保護、公務の能率的な運営の確保のために不可欠である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—	予算要求上の判定件数に対して、平成24年度は実際の判定件数が少なかったこともあり、職員旅費や庁費に不用額が発生した。支出の内容は、適正な審理の実施と迅速な事案処理に必要なものに限定されている。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	△		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	簡易迅速に苦情の処理が行われており、24年度についても、事案の処理について概ね早期判定発出が達成されている状況である。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	
点検結果	<p>国家公務員の苦情の処理を所管する人事院として、審査制度に沿って事案の処理を適切かつ迅速に行うことは重要な責務であり、その施策の実施に当たっては、業務遂行に必要な不可欠な項目を精査して予算要求している状況であるが、各審査制度の予算上の件数と実際の判定件数に齟齬が生じている結果、不用額が発生した。事業の効率性の点から、予算要求の積算基礎となる判定件数については過去の実績を精査の上算出を見直し、これを反映させて職員旅費や印刷経費等庁費の削減を図っていく。</p>		
外部有識者の所見			
行政事業レビュー・調達改善推進チームの所見			
<p>予算と執行の乖離を是正する観点から、所管部局による点検結果を概算要求に反映させる必要がある。</p>			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
<p>○ 不利益処分審査、行政措置要求、災害補償審査、給与決定審査の各申立事案について近年の処理状況をみると全体の判定発出件数が減少していることから、26年度概算要求の積算根拠となる判定件数を見直すことにより、審理の実施に係る職員旅費、会場借料及び審査の手続きの印刷製本費の要求額を減額する。</p> <p>○ 判定要旨集について部内印刷へ切り替えることにより庁費を減額する。</p>			
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成24年			

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)



(株)エスアイアソシエイツ

費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	判定検索データベースの移行作業	2.8			
計		3	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エスアイアソシエイツ	判定検索データベースの移行作業	2.8	随意契約	
2	(株)会議録研究所	審理記録の録音テープの反訳作業	1	(単価契約)	
3	A病院	診療録複写料	0.02	随意契約	
4	B病院	診療録複写料	0.01	随意契約	
5	一般社団法人日本職業・災害医学会	年会費(定期刊行物購読会員)	0.01	随意契約	
6	C病院	診療録複写料	0.009	随意契約	
7	D病院	診療録複写料	0.007	随意契約	
8	E病院	診療録複写料	0.007	随意契約	
9	F病院	診療録複写料	0.004	随意契約	
10	G病院	診療録複写料	0.003	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	災害補償審査事案に係る委員謝金	0.5	諸謝金	
2	個人B	災害補償審査事案に係る委員謝金	0.5	諸謝金	
3	個人C	災害補償審査事案に係る委員謝金	0.3	諸謝金	
4	個人D	災害補償審査事案に係る委員謝金	0.3	諸謝金	
5	個人E	災害補償審査事案に係る委員謝金	0.3	諸謝金	
6	個人F	災害補償審査事案に係る委員謝金	0.2	諸謝金	
7	個人G	災害補償審査事案に係る意見聴取	0.01	諸謝金	
8	個人H	災害補償審査事案に係る意見聴取	0.01	諸謝金	
9	個人I	災害補償審査事案に係る意見聴取	0.01	諸謝金	
10	個人J	不利益処分審査事案に係る意見聴取	0.007	諸謝金	

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)大分県文化スポーツ振興財団	不利益処分審査事案の実施に係る会場借料	0.05	随意契約	
2	(財)とちぎ未来づくり財団	不利益処分審査事案の実施に係る会場借料	0.03	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					